

## セッション名 OS33 X線分光撮像衛星 (XRISM) ミッションの概要と状況

### 1. オーガナイザ氏名、所属、連絡先(電話番号/メールアドレス)

代表	氏名	所属	連絡先
	前島 弘則	JAXA 宇宙研	

### 2. 概要

2016年2月17日に種子島宇宙センターからH-IIAロケットで打ち上げられた我が国6番目のX線天文衛星ASTRO-Hは、不具合の発生により、4月28日に運用を断念した。しかし、この期間に示された観測装置の性能は、世界の天文学者を驚かせるすばらしいものであった。X線分光撮像衛星 (XRISM) ミッションは、国内外の宇宙科学コミュニティの要望を踏まえ、ASTRO-Hが目指していた科学成果を早期に回復するべく、ASTRO-H軌道上不具合の直接要因及び背後要因を識別、再発防止対策を立案したうえで計画された。ASTRO-H同様、NASAやESAをはじめとした関係機関の協力を得て、これまで世界のX線天文学を牽引してきた日本が主導し、宇宙科学のフロンティアを拓く大規模な国際X線観測ミッションとして進めている。本セッションでは、X線天文衛星代替機ミッションの概要と現在の開発状況を報告する。

### 3. セッション構成、発表件数

プログラム、ミッション、衛星システム、搭載科学機器、地上システムについて7件

### 4. 個別発表題目と著者、所属、講演登録番号(発表順)

発表題目	著者	所属	講演登録番号
<u>X線分光撮像衛星(XRISM)プログラム</u>	前島 弘則	JAXA	<u>3K13</u>
<u>X線分光撮像衛星(XRISM)科学目的の概要</u>	田代 信ほか	JAXA	<u>3K14</u>
<u>X線分光撮像衛星(XRISM)総合システムの概要及び開発方針について</u>	戸田 謙一	JAXA	<u>3K15</u>
<u>X線分光撮像衛星(XRISM)衛星システム</u>	夏苺 権	JAXA	<u>3K16</u>

<u>ムの開発状況</u>			
<u>X線分光撮像衛星(XRISM)軟X線分光装置 Resolve の概要と状況</u>	竹井 洋	JAXA	<u>3K17</u>
<u>X線分光撮像衛星(XRISM)軟X線撮像装置 Xtend の概要と状況</u>	富田 洋	JAXA	<u>3K18</u>
<u>X線分光撮像衛星(XRISM)地上システムの概要と状況</u>	飯塚 亮 <u>ほか</u>	SED	<u>3K19</u>

## 5. その他

司会者：堀内貴史(JAXA)